



表1 主要通貨の強弱感を月次で測定してみると

	主要通貨の対円相場の推移(FTS基)			上昇率ランク(%)				
	1位	2位	3位	4位	5位			
2005.6	111.62	135.13	203.87	86.44	豪ドル	米ドル	英ポンド	円 ユーロ
05.7	113.47	137.94	201.46	87.42	ユーロ	米ドル	豪ドル	英ポンド
05.8	112.40	137.61	203.02	85.18	英ポンド	円 ユーロ	米ドル	豪ドル
05.9	114.19	137.63	203.04	88.02	豪ドル	米ドル	ユーロ	英ポンド
05.10	116.75	141.13	209.53	88.67	英ポンド	米ドル	ユーロ	豪ドル
05.11	120.68	142.46	209.62	90.41	米ドル	豪ドル	ユーロ	英ポンド
05.12	119.07	141.33	207.74	88.45	円	ユーロ	英ポンド	米ドル
06.1	118.75	143.82	212.29	90.19	英ポンド	豪ドル	ユーロ	円
06.2	117.27	139.13	206.18	87.66	円	米ドル	豪ドル	ユーロ
06.3	118.47	144.31	209.16	86.05	ユーロ	英ポンド	米ドル	円
06.4	116.75	144.87	210.19	88.43	豪ドル	英ポンド	ユーロ	円
06.5	113.26	145.78	215.19	87.40	英ポンド	ユーロ	円	豪ドル
06.6	116.24	147.50	214.70	87.25	米ドル	ユーロ	円	豪ドル
06.7	115.85	147.99	217.91	89.96	豪ドル	英ポンド	ユーロ	円
06.8	118.31	152.01	227.46	91.41	ユーロ	米ドル	豪ドル	円
06.9	118.90	151.27	225.10	90.05	米ドル	ユーロ	英ポンド	豪ドル
06.10	118.70	151.10	227.65	92.52	豪ドル	英ポンド	円	ユーロ
06.11	117.48	154.64	230.67	93.37	英ポンド	豪ドル	円	米ドル
06.12	120.11	158.00	237.66	96.16	英ポンド	米ドル	ユーロ	豪ドル
07.1	122.73	159.24	242.90	95.99	英ポンド	米ドル	ユーロ	円
07.2	119.44	158.22	236.52	95.20	円	ユーロ	豪ドル	英ポンド
07.3	119.05	158.83	235.73	97.36	豪ドル	ユーロ	米ドル	英ポンド
07.4	120.80	164.40	242.46	100.95	豪ドル	ユーロ	英ポンド	米ドル
07.5	122.69	164.93	244.51	102.08	米ドル	豪ドル	英ポンド	ユーロ
07.6	124.26	167.14	250.88	106.45	英ポンド	ユーロ	米ドル	円
07.7	119.94	164.58	245.67	104.11	ユーロ	英ポンド	豪ドル	米ドル

(出所)著者作成

上場している株式の時価総額を、ユーロ市場のそれが抜いたことだ。いずれも、米ドルの基軸通貨としての霸權が徐々に弱体化し始めていることを示す。そういういえ、ブッシュ政権がイラク侵攻を始めた直後のきっかけになったのは、イラク政府が原油の輸出代金の受け取り通貨として米ドルを拒否したことだと見る關係者が多い。

米ドル一辺倒から

分散投資へ

外貨建て資産保有の第一歩としている。が、米ドルだけを保有するよりも、それ以外の複数の通貨を同時に保有する方が、中長期的には収益(資産価値)は安定、かつ相対的に高収益が得られる可能性が高い、と考えていい。

これは明らかに家計の資産運用においても米ドル一辺倒の時代が終りつつあることを示している。

表2 国内投資信託の通貨(国)別資産運用状況(上位10傑)

01年5月末			02年5月末			03年5月末		
国名	純資産(億円)	シェア(%)	国名	純資産(億円)	シェア(%)	国名	純資産(億円)	シェア(%)
米国	72,739	47.0	米国	92,961	41.9	米国	130,804	37.6
ユーロ	36,926	23.9	ユーロ	55,171	24.8	ユーロ	79,503	22.9
オーストラリア	12,867	8.3	オーストラリア	21,707	9.8	オーストラリア	36,407	10.5
イギリス	8,940	5.8	カナダ	13,374	6.0	イギリス	24,132	6.9
香港	5,714	3.7	イギリス	10,081	4.5	カナダ	15,206	4.4
カナダ	5,445	3.5	香港	6,112	2.8	香港	14,650	4.2
デンマーク	2,891	1.9	ニュージーランド	4,010	1.8	ニュージーランド	6,272	1.8
ニュージーランド	1,763	1.1	インド	3,590	1.6	デンマーク	4,714	1.4
ノルウェー	1,678	1.1	デンマーク	3,448	1.6	インド	4,699	1.4
スウェーデン	1,407	0.9	ノルウェー	2,387	1.1	スウェーデン	4,213	1.2
その他	4,349	2.8	その他	9,244	4.2	その他	26,873	7.7
合計	154,719	100.0	合計	222,085	100.0	合計	347,473	100.0

(出所)投資信託協会

投資のツボ

マクロ経済データを 投資に生かす法

家計資産でも、米ドル一辺倒の時代は 終わりつつある

「今週は週初からやや円高が進んだ」との報道に接して、われわれは普段、どのように反応するだろうか?

おそらく多くの読者の方々は、「そりや、もちろん対米ドルでの話でしょ」とおっしゃると思う。同時に、「それがどうかしたの?」とげげんな面持ちで問い合わせられる方少なくないであろう。

ここに私は多くの日本人が持つ国際感覚の希薄さを感じる。複数の国と国境を接しているヨーロッパや多くのアジア諸国人の人々とは異なり、為替相場に対するあまりにもブリマチュー(未熟)な感覚を感じるので少くない。

ニューヨークはセントラルパークわきのスターバックスで、ソーツをまったくサラリーマンがいきなり「米ドル高」と傍らの同胞に話しかけたとしても、聞いた側は「ハハ」とは言わない。必ず「ところで君はどの通貨に対する米ドルの動きについて見る

いて話しているんだ」と聞くはずだ。

ニューヨーク一帯にとつて、米ドルの価値を計る尺度は決まっていない。ニューヨーク市場において対米ドルで取引量の多い順で言えば、ユーロ、日本円、英ポンドの順にならうが、一般にはこれらの通貨に対しては強かつたとか「カナダドルに対しては上げたが中国人民元に対してはやや下げた」というようだ。嘘だと思うなら、身近にいる外国人に聞いてみればいい。

為替相場では

「どの通貨に対してか」を見る

「どの通貨に対してか」を見るためには、いまや個人投資家に急激に浸透し始めた投資信託が保有する外貨の種類別推移だ。国内で運用されている公募タイプの投資信託は5月末時点で78兆5,000億円だが、うち外貨建資産は33兆4,500億円。外貨全体に占める米ドルは12兆7,900億円だから、そのシェアは38.2%。ところがこれからさかのばる5年前の01年末には、45兆2,800億円の投信全体で保有する外貨資産が3兆7,800億円で8.3%、このうち米ドルのシェアが59.7%を占めており、5年前に比べて米ドル建て資産の比率が急減していることが分かる。それに代わって急速に伸びてきているのが豪ドル、英ポンド、カナダドルなどの資源国でかつ高金利通貨だ(表2)。

これは明らかに家計の資産運用においても米ドル一辺倒の時代が終わっていることを示している。

金融市場でユーロ通貨が着実に米ドルの地位を脅かし始めていることが

相次いで報道された。1つは、現金として流通している通貨の量においてユーロが米ドルを凌駕するに至ったことだ。2つめには、米国市場に